サポート情報記事

マイナス残日数を許可する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

設定をオンにする 4

従業員にとっての変化 5

チェックの対象となる申請 6

この設定を使用する場面 7

概要

既定では、Vitextra Absence & Coverage は年間の付与日数を保護します。従業員は、不在の種類ごとの残日数を超える日数の申請を送信できません。パネルには **申請が、この不在の種類の残日数を超えています。]** というエラーが表示され、**申請を送信]** ボタンを選択しても申請は保存されません。

会社によっては、休暇を前借りしたり、付与日数を少し超えて取得し、後で精算したりすることを意図的に認めています。このために用意されているのが `AllowNegativeBalance` 設定です。これをオンにすると、同じメッセージは表示されたままですが、**警告**としてのみ表示されます。従業員は引き続き申請を送信でき、その不在の種類の残日数はマイナスになります。

> **メモ**
>
> この設定は既定ではオフで、製品サイト全体に適用されます。残日数のあるすべての従業員とすべての不在の種類が対象です。上限のない不在の種類は、チェックされることはありません。

設定をオンにする

1. 製品サイト (Web パーツで選択したサイト) を開き、**]** から `Settings` リストを開きます。
2. **新規]** を選択し、アイテムに入力します。
3. アイテムを保存し、ユーザーに Web パーツのあるページを再読み込みするよう依頼します。



Settings リストの AllowNegativeBalance 行

値の大文字と小文字は区別されません。`true`、`True`、`TRUE` のいずれでも設定がオンになります。**それ以外の値** (`yes`、`1`、`on` を含む) では、オフのままです。設定を再びオフにするには、`Value` を `false` にするか、行を削除します。

従業員にとっての変化

残日数のチェックは、従業員が日付を選択している間に **新しい不在申請]** パネルで行われます。概要行には **この申請後の残日数]:** と残りの日数が表示されます。この設定がない場合、マイナスの数値には赤いエラーが伴います。
`AllowNegativeBalance` が `true` の場合は次のようになります。

- **申請が、この不在の種類の残日数を超えています。]** というメッセージが黄色の警告として表示されます。
- **申請を送信]** ボタンで申請が通常どおり保存されます。申請は **承認待ち]** になるか、その種類が承認を必要としない場合、または選ばれた承認者が従業員本人である場合はすぐに承認されます。
- 申請は残日数から全日数が差し引かれるため、残りの値が 0 未満になります。

「休暇」の種類で年間付与日数が 20 日の場合の例を示します。

項目	日数
付与日数	20
使用済み (承認済みの申請)	18
保留中	0
新しい申請	4
この申請後の残日数	-2



残日数を超えたときに、エラーの代わりに表示される黄色の警告

送信後、My Absences の **残日数]** セクションにある不在の種類のカードにマイナスの値 (たとえば −2) が表示され、付与日数が 0 より大きい場合は進行状況バーが満杯になります。承認者には、申請がこれまでどおり表示されます。**承認]** タブには従業員の残日数が表示されないため、承認者には運用方針を伝えておいてください。

チェックの対象となる申請

残日数のチェックは、この設定の有無にかかわらず、次のすべてに該当する場合にのみ行われます。

- 不在の種類に上限がある。つまり、`AbsenceTypes` リストで `AnnualAllowance` が 0 より大きいか、`Balances` リストにその人・種類・年の

行がある。
- 申請の開始日が、My Absences Web パーツに現在表示されている年に含まれる。読み込まれる残日数がその年のものであるため。
- 申請によって残りの値が 0 未満になる。

警告

申請は、翌年にまたがる場合でも、すべて開始日の年に計上されます。翌年の残日数は減りません。したがって、マイナス残日数の許可は運用方針の決定です。従業員が付与日数を超えることを妨げるものがなくなるため、**残日数]** セクションのカードを定期的に確認してください。

この設定を使用する場面

`AllowNegativeBalance` は、次のような場合に使用します。

- 会社が休暇の前借りを認め、翌年の付与日数から差し引く。
- 人事部が、申請を阻止するのではなく、承認の段階で例外を判断したい。
- 付与日数が年の途中で個人別に入力されるため、それまでの間は従業員をブロックしたくない。

特定の人にだけ日数を増やしたい場合は、全員に対してこの設定をオンにしないでください。代わりに、KB10353. 年間付与日数と繰越日数を設定する方法 の説明に従って、`Balances` リストでその人の付与日数を増やすか、繰越日数を追加します。

ヒント

設定を再びオフにしても、既存の申請は変更されません。残日数のチェック対象となる種類と年では、新しい申請に必要な日数が残っている場合にのみ送信できます。残日数がプラスであるだけでは不十分です。